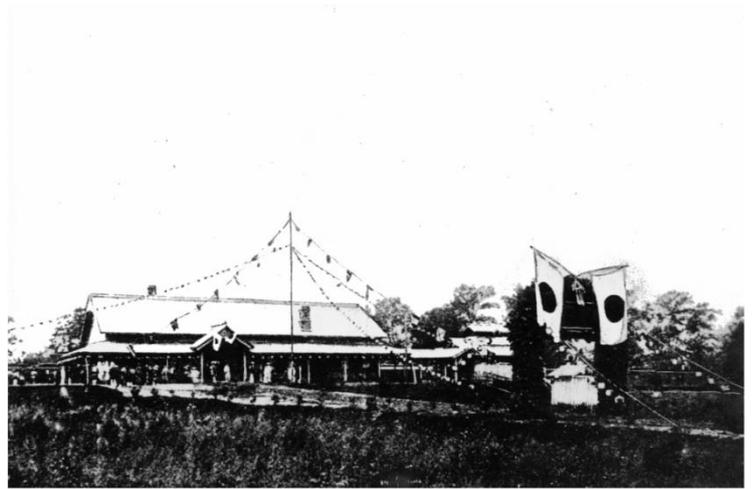


お家で読もう！

キッズかわら版

あさひかわえき むかしの旭川駅

旭川駅が今のように建てかわったのは今から3年くらい前だけど、鉄道の駅がはじめて旭川にできたのは今から110年くらい前の1898年にさかのぼるんだ。そのときの旭川はちいさ



はじめてできた旭川駅（1898年ごろ）

な町だったので、鉄道ができることは住む人にとって大きなできごとだったんだ。

ひとびと
人々は、はたして鉄道ができるのかできないのか、とてもやきもきしてたんだ。

今だったらテレビやラジオのニュースでわかるけど、そのときの旭川にはどちら
もなかったのだから、鉄道が決まったときにみんなに知らせるのも大変。そこで、みんな
で手分けして石油かんを棒でガンガンならして、大声で鉄道ができることをさけ
びながらまちなかを回って知らせたんだって。

ペットボトルのリサイクルあれこれ



《ペットボトルのリサイクル》

ペットボトルは、プラスチックのなかまのひとつで、いまでは目にすることも多いですね。このペットボトルってリサイクルされていろいろなものに使われています。さて、ペットボトルってどうリサイクルされてるんだろう？

《方法①：洗^{あら}ってくりかえし使う（リユース）》

衛生面^{えいせいめん}などの問題が多くて、日本では「ほとんど」やっていないんだ。

《方法②：原^{げんりょう}料として再^{さいせい}生して使う（マテリアル・リサイクル）》

使い終わったPET ボトルから再生樹脂^{さいせいじゅし}を作り、それを原料にして物を作ります。たとえば卵^{たまご}のパックや服、ボールペンや洗剤^{せんざい}のボトルなど、いろいろな物が作れます。再^{ふた}びPET ボトルを作ったりもします。



《方法③：熱の利用（サーマル・リサイクル）》

使い終わったボトルで燃^{ねんりょう}料を作り、火力発電所^{かりよくはつでんしょ}などで燃やします。

【さいごに】

2011年のペットボトルの販売量^{はんばいりょう}は約60万トン、回収量^{かいしゅうりょう}は約48万トン、そのうちリサイクルできたのは約41万トン。この数字を見て、「がんばってるな」と思うか「まだそれくらい？」と思うか、キミはどっちかな？

はくねつでんきゅう にほん たけ エジソンの白熱電球に使われた日本の竹

しょうめいきく つか はくねつでんきゅう はつめい
照明器具として使われている白熱電球はエジソンが発明しました。

トーマス・アルバ・エジソン（1847年2月11日～1931年10月18日）は

ちくおんき えいしゃき しょうがい こ はつめいか
蓄音機や映写機など、生涯に1000を超える発明をしたアメリカの発明家です。

エジソンは長い間、白熱電球のフィラメントの研究

を行いました。フィラメントとは、白熱電球の中に入

っている細い線のことです。そこに電気が流れると

こうねつ はっ でんきゅう
高熱になり、光を発するのが電球のしくみです。

エジソンは、1879年に木綿糸を使って白熱電球を

つくりました。この電球は40時間という長い時間点灯しました。

その後、エジソンは6000種類もの植物から炭をつくって実験したところ、竹製

のフィラメントを使った電球が長い時間点灯することがわかりました。そこで、

せかいじゅう じっけん
世界中から竹を集めて実験したところ、なんと日本の

きょうと いわしみ すはちまんぐう さいよう
京都の石清水八幡宮にある竹が採用されました。日本

の竹をフィラメントにした電球は、2450時間も続け

て点灯することに成功したそうです。

フィラメント

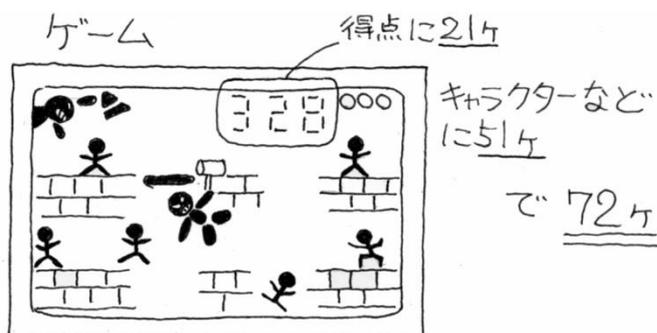
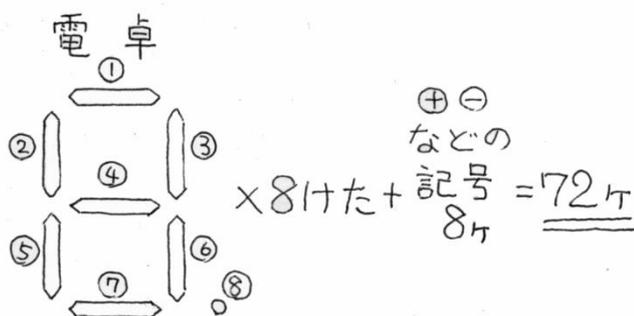


博物館の「ナンダコレ!？」…その④ 「電卓～でんたく」

ゆきんぼにある、古くて重いこの電卓。
 この電卓は今から44年前に作られたんだ。
 古い電卓だけど、今でも同じように使えるんだ。
 値段は当時で22万8千円、もちろん高かった
 ので大きな会社で大事な計算にしか使われなかったんだって。



みなさんは、携帯型ゲーム機を持っていないかい？この先祖とも言われる「ゲームウォッチ」の頭脳は実は電卓から作られたんだって。
 8けたの電卓は72個の棒や点で表示されているんだけど、それを利用したのが「ゲームウォッチ」なんだ。
 キミたちがゲームで遊べるのも実は電卓のおかげなのかもしれないね。



発行日 平成25年12月15日

編集 旭川市教育委員会 社会教育部 博物科学館

旭川市科学館 〒078-8329 旭川市宮前通東（北彩都あさひかわシビックコア地区）

TEL 0166-31-3186 FAX 0166-31-3310

旭川市博物館 〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目（旭川市大雪クリスタルホール内）

TEL 0166-69-2004 FAX 0166-69-2001

ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/hakubutsukagaku/>